

～ 健口と輝く笑顔のために～

歯科衛生だより 会報

2024 April vol. **80** 発行人/吉田 直美 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <https://www.jdha.or.jp/>

令和5年度 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業(厚生労働省補助事業)

「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」オンライン開催

本研修会の目的は「地域で中核を担う研修指導者や臨床実地指導者等の人材育成を行い、地域における指導体制を確保すること」つまり、新人や復職者に対する指導者の育成である。

昨年度に引き続き、コロナ禍であったが、令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類に移行した。それにより、これまで当たり前だったマスクの着用も個人の判断に委ねることが基本とされた。結果的に感染者数増加とインフルエンザの流行を招いたこともあり、令和5年度の「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等研修会」もオンライン開催となった。

研修会は計4回開催され、参加者は令和5年8月5、6日が23人(6日1人欠席)、9月2、3日が22人、11月25、26日が22人、12月9、10日が20人であった。オンライン開催では使用する端末によっては通信不良を起こす事例が過去にあった。そこで今回は2日間のグループワークにおける安定したオンライン通信が行えるよう、パソコンでの参加協力を呼びかけた。

今回のテーマも例年通り「歯科衛生士のための研修カリキュラム開発」であり、『歯科衛生士の研修計画の立案、目標設定、学習の方略と実施、評価に関するカリキュラム・プランニングや人材育成、コミュニケーション技法』について、活動領域の異なるメンバーで、グループワークを多用することにより研修を進めた(図1)。

参加者は都道府県歯科衛生士会などにおいて研修事業の企画運営を担当する方、病院・診療所・教育機関・介護保険施設などの研修指導者や臨床実地指導者として各地域で活躍する方々であった。

以前はタスクフォースである歯科医師が全面的に講義や進行を担当していたが、昨年度から当日の講義と進行を支援タスクフォースである歯科衛生士が分担して行うようになり、本年度は担当者が内容を自分の言葉でブラッシュアップして受講生に伝えられるように努めた。

参加者の受講理由に「診療所や病院などで実際に新人や復職者の担当になったので参加した」などがあった。今回の研修会でのカリキュラム・プランニングの学習内容を、各職場でのスムーズなカリキュラム実施に役立ててもらえることを期待したい。また各地域で今までの修了者と連携し、地域における指導体制を確保することも効果的と考える。

講習会の最後のセッションでは本研修会の参加者が、受講内容を活かして、地域の中で役立てるために実際に何をしたいかを、ワークシートに記入したのちに宣言し、それを参加者全員で共有した。単に考えるだけではなく、考えを文字にしてみることは計画の具体性や問題点の発見に役立つと考える。

研修会の参加募集対象者は表題通りの「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者」だが、文字だけ見るとかなり上位の責任者でないと参加資格がないように感じる方もいるであろう。しかし、診療所などで後輩の指導をする立場の方には積極的に本研修会に参加してほしい。また復職支援や離職防止担当の方のさらなる参加にも期待したい。



コミュニケーション技法キャッチボール

(指導者等講習会企画運営委員会 小森 朋栄)

令和6年能登半島地震被災者への義援金のお願い

1月1日に発生しました令和6年能登半島地震で被災された皆様ならびに関係の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。また、被災によりお亡くなりになった方々のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

日本歯科衛生士会では、被災された方々の一日も早い復興を願い、義援金の受付を行っております。一人でも多くの皆様にご協力を賜りたく、よろしくごお願い申し上げます。

募集期間 5月31日まで **募金口座** **銀行名** きらぼし銀行 西大久保支店 **口座番号** 普通預金 5038090
口座名義 公益社団法人日本歯科衛生士会 令和6年能登半島地震 義援金

2024年度 認定歯科衛生士セミナー開催のお知らせ

コース	開催日程	定員
生活習慣病予防 (特定保健指導・食生活改善指導担当者)	9月2日(月)～10月16日(水) 10月19日(土) 10月19日(土)	オンデマンド配信 ライブ配信 認定テスト 40名
摂食嚥下リハビリテーション	9月20日(金)～11月22日(金) 11月23日(土祝)、24日(日) 11月24日(日)	オンデマンド配信 集合型研修(東京都) 認定テスト 40名
在宅療養指導・口腔機能管理	8月14日(水)～9月14日(土) 9月8日(日) 9月15日(日)、16日(月祝) 9月16日(月祝)	オンデマンド配信 ライブ配信 集合型研修(大阪府) 認定テスト 48名

*在宅療養指導・口腔機能管理は大阪府と東京都の隔年開催予定

コース	協力教育機関	開催日程	定員
糖尿病予防指導	徳島大学歯学部	9月30日(月)～11月22日(金) 9月29日(日) 11月23日(土祝)、24日(日) 11月24日(日)	オンデマンド配信 ライブ配信 集合型研修(東京都) 認定テスト 56名

*糖尿病予防指導は東京都と大阪府の隔年開催予定

コース	委託教育機関	開催日程	定員
医科歯科連携・ 口腔機能管理	東京歯科大学	(前期) 6月30日(日)～7月27日(土) 7月28日(日) 7月29日(月)、8月5日(月) (後期) 8月19日(月)、8月26日(月) (5名ずつ4班に分けて実施) 開催場所 千葉県市川市	オンデマンド配信 ライブ配信 集合型研修 認定テスト 20名
歯科医療安全管理	広島大学歯学部	7月27日(土)～9月8日(日) 8月31日(土)、9月1日(日) 9月1日(日)	オンデマンド配信 ライブ配信 認定テスト 36名

認定歯科衛生士セミナー受講申込みはホームページから

2024年度の認定歯科衛生士セミナー受講申込みはオンラインにより受け付けます。受講対象者には日本歯科衛生士会ホームページの会員ページにてお知らせしておりますので、そちらよりお申込みください。

「地域ケア会議」取り組み状況についてのアンケート結果報告

高齢者が住み慣れた地域でできる限り継続して生活を送ることを支えるため、保健・福祉・医療の専門職の助言を取り入れ、高齢者を継続的かつ包括的にケアする「地域ケア会議」が各地で開催されている。

そこで、在宅・施設口腔健康管理委員会では、都道府県の「地域ケア会議」への歯科衛生士の参加状況を把握するため、令和5年10月にアンケートを実施した。今回は令和元年度の調査結果を受け医歯薬出版株式会社から日本歯科衛生士会が監修した『歯科衛生士のための地域ケア会議必携マニュアル』の活用について確認することを追加項目に挙げた。

1. アンケート結果について

全都道府県会の回答を得た結果、地域ケア会議に歯科衛生士が95.8%出席しており、出席している市町村数について89.1%が把握していた。出席していない理由として歯科衛生士会に依頼や相談がない、会議メンバーに入っていないことが挙げられた。出席している歯科衛生士の所属先は診療所が77.8%、ついで行政関係、施設が多かった。会議に臨むにあたり要望があると

回答したのは78.3%あり、内訳はスキルアップのための研修会が83.3%など研修や相談の要望が多かった。自由記載の内容でも研修の要望や報酬に関する件、行政へのアピールの必要性などが挙げられていた。

『歯科衛生士のための地域ケア会議必携マニュアル』については本を持っている、知っている、を含めて93.8%あり、その本を使って研修をしたことがあるのは58.3%だった。

2. 考察

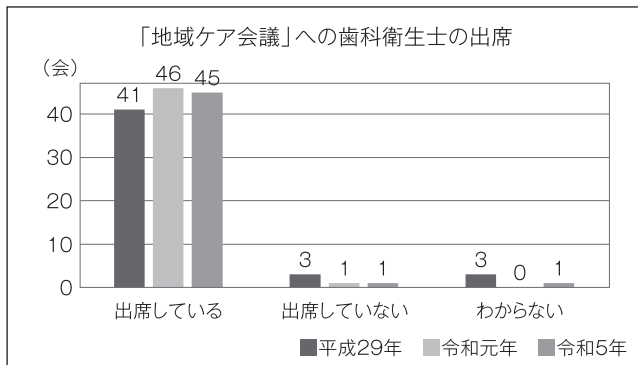
過去2回実施した結果と比較して歯科衛生士の出席数は全体的には大きな変化はない。都道府県会が地道に努力や研修を重ねてこられた結果、徐々に出席者が増えているところが多い。また、地域ケア会議の数が多くて把握しきれないと回答したところもあった。地域ケア会議の回数が増えるのは良いことだが人材不足や研修内容の難しさが出てきた。

地域ケア会議に出席するにはそれらにむけて人材育成が重要である。歯科衛生士が参加することの必要性をアピールするとともに研鑽を積んで準備していくことも不可欠である。この努力は同職種のみならず多職種にも伝わっていくものと考えている。

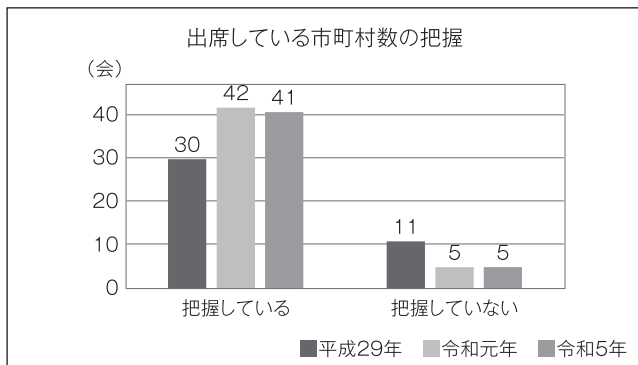
日本歯科衛生士会として前はマニュアル本を作成し、手に取って参考にしていただけたようにした。今後は具体的な事例を使用した模擬地域ケア会議の研修会を検討している

アンケート結果抜粋

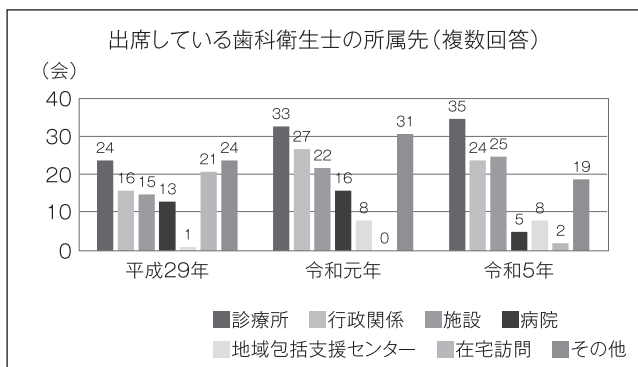
Q.「地域ケア会議」へ歯科衛生士が出席していますか



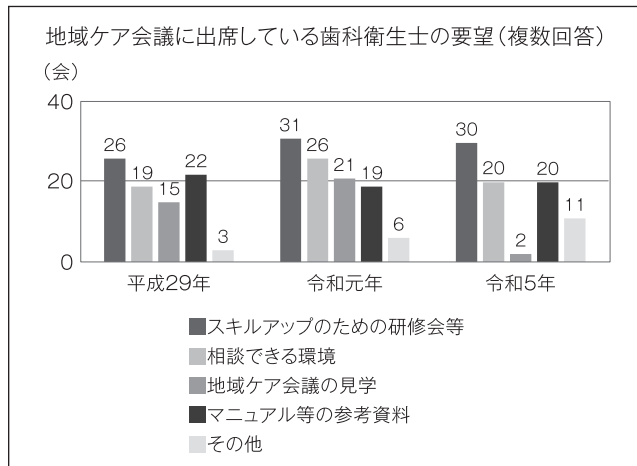
Q.出席している市町村数を把握していますか



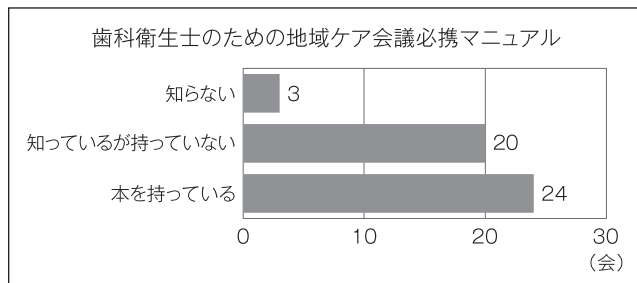
Q.出席している歯科衛生士の所属先を教えてください(複数回答可)



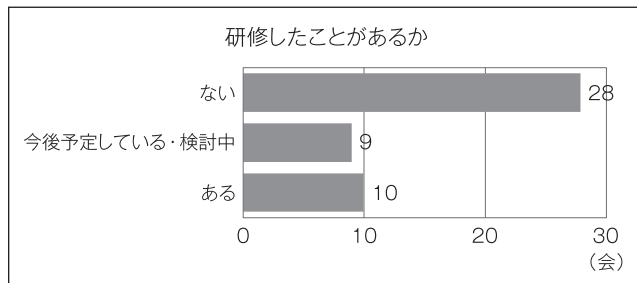
Q.出席している歯科衛生士から地域ケア会議に臨むにあたっての要望の内訳(複数回答可)



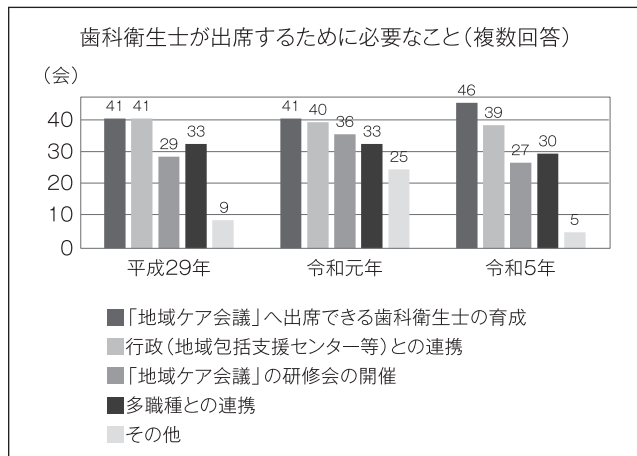
Q.日本歯科衛生士会が監修した『歯科衛生士のための地域ケア会議必携マニュアル第2版』をご存じですか



Q.またそれを使って研修をしたことはありますか



Q.今後、地域ケア会議へ歯科衛生士が出席するために必要と考えられることは何ですか(複数回答可)



令和4年度 地域歯科保健活動実施状況報告概要

公益社団法人日本歯科衛生士会では各都道府県歯科衛生士会の歯科保健活動状況を把握し、今後の推進方策等の基礎資料とするために毎年調査を実施している。以下に令和4年度調査結果を報告する。

I 調査方法および調査項目

調査方法

47都道府県歯科衛生士会に調査票を電子媒体にて送信し回答を得た(回答率:100%)。

実施主体別状況

1 主催事業

都道府県歯科衛生士会が計画、実施した事業

2 共催・協力・後援事業

行政、歯科医師会、その他から依頼を受けて実施した事業

3 受託事業

行政、歯科医師会、企業等から委託を受け、委託契約書を交わして実施した事業

事業内容別状況

- 母子歯科保健事業
- 学校歯科保健事業
- 成人歯科保健事業
- 高齢者・要介護者歯科保健事業
- 障害(児)者歯科保健事業
- 休日救急歯科診療事業
- 歯と口の健康週間事業
- その他事業
- 各種委員会への構成員としての参画

II 調査結果

1. 事業実施回数

令和4年度事業実施回数は49,111回であり、コロナ禍の影響が続いていた前年度より増加しているものの令和元年度の54,332回には、まだ回復していない。実施主体別では、共催・協力・後援事業が31,892回(64.9%)、受託事業が16,878回(34.4%)、主催事業は341回(0.7%)であった(図1)。

依頼機関別にみると、行政からの依頼は共催・協力・後援事業が70.3%、受託事業が69.6%とともに約7割を占めていた。歯科医師会からの依頼は共催・協力・後援事業が22.8%、受託事業が21.9%であり、例年とほぼ同様の割合であった(図2、3)。

事業内容別でみると、母子歯科保健が18,790回(38.3%)と最も多く、次いで高齢者・要介護者歯科保健の10,766回

(21.9%)、学校歯科保健の5,756回(11.7%)であった(図4)。

依頼機関別でみると、行政からは母子歯科保健が51.6%と最も多いが前年度よりも割合が減少した。次いで高齢者・要介護者歯科保健が16.9%であった。歯科医師会からは高齢者・要介護者歯科保健が最も多く30.9%、休日救急歯科診療は27.4%であった(図5)。

2. 実施延人数

実施総延人数は1,426,606人であり、実施回数同様、前年度より回復し、約12万人増加した。事業内容別にみると学校歯科保健が587,096人(41.2%)と最も多く、次いで母子歯科保健が499,924人(35.0%)であり、上位2事業で全体の8割弱を占めていた(図6)。

3. 年次別活動状況

令和4年度実績の実施回数について、最も多いのは母子歯科保健であり、次いで高齢者・要介護者歯科保健であった(図7)。実施延人数について、実施回数と異なり、最も多いのは学校歯科保健であり、次いで母子歯科保健であった。新型コロナウイルス感染症の流行前と比較し、令和元年度を100%とした場合、学校歯科保健では102.6%、母子歯科保健では77.2%の実績となり、学校歯科保健は増加傾向にあることがうかがえた。母子歯科保健はコロナ禍の影響で乳幼児歯科健診の個別健診が増加したこと、出生数自体の減少の影響が推察される(図8)。

実施回数および延人数は、前年度と比較し、令和4年度は実施回数で約4千回、実施延人数で約12万人増加した(図9)。

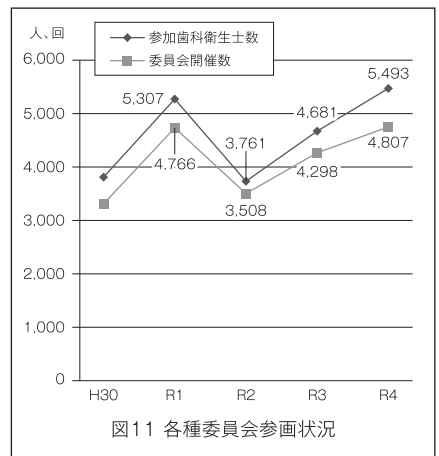
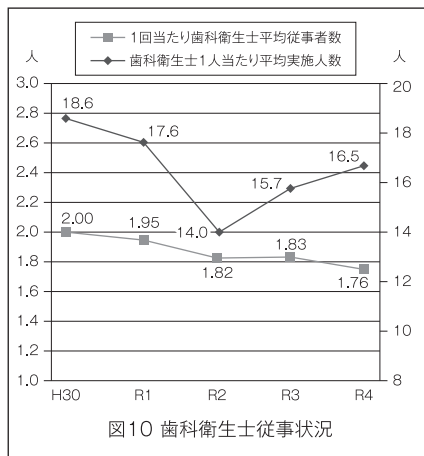
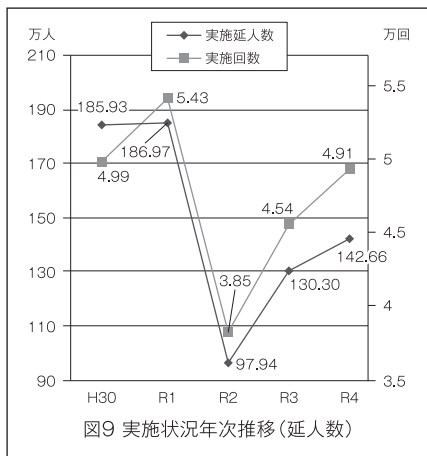
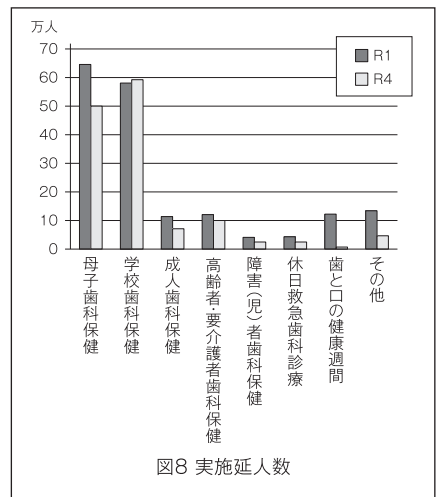
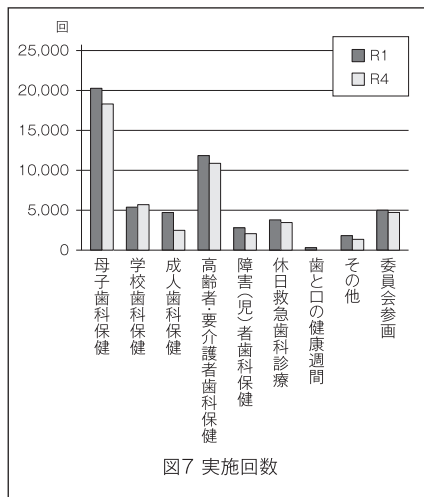
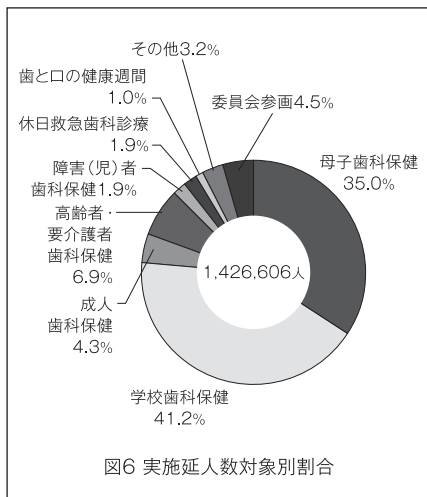
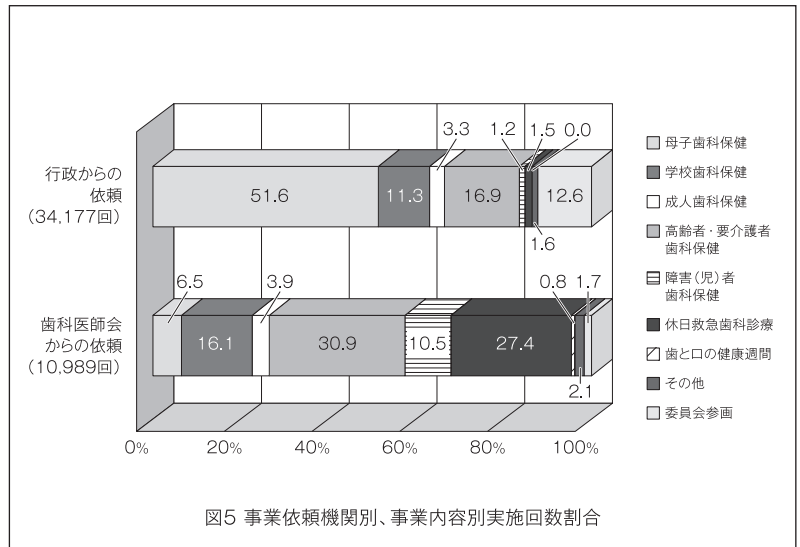
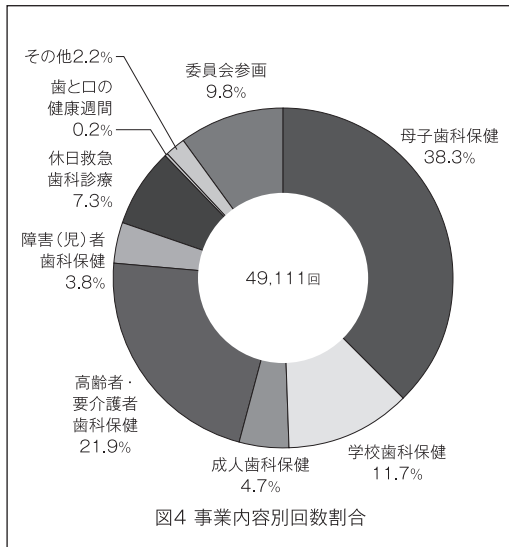
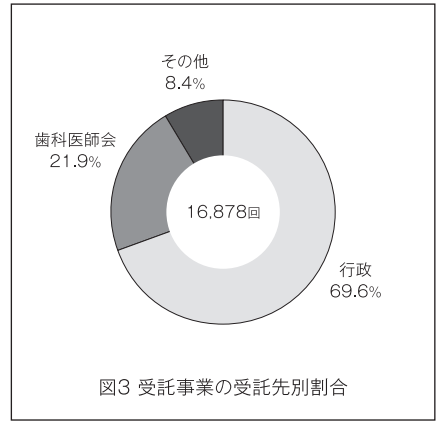
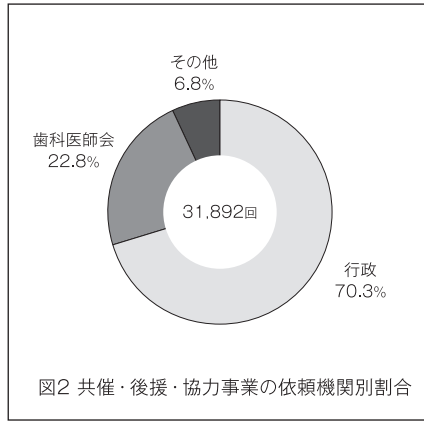
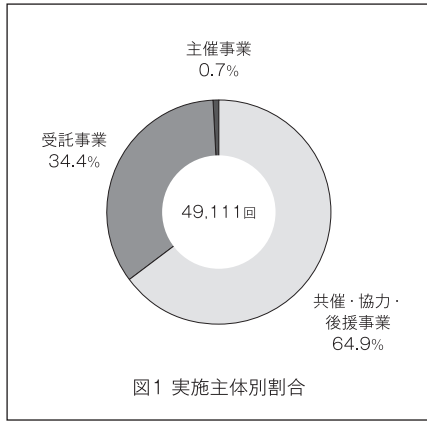
従事する歯科衛生士数は前年度より増加したものの令和元年度と比較すると約2万人減少している。歯科衛生士1人当たりの実施人数は、前年度より0.8人増加したが令和元年度と比較すると約1.1人少ない状況である(図10)。

各種委員会に参加する歯科衛生士数は、委員会開催回数と共に増加した(図11)。

III まとめ

各種事業が再開されつつあることがうかがえた。各都道府県会では歯と口腔の健康づくりへのさまざまな取り組みが再開され、社会情勢に適した歯科保健活動を展開していくことが求められていくと推察される。本調査は貴重な資料となっており、今後も継続した調査の実施に協力をお願いしたい。

(日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会)



ブロック連絡協議会・ブロック研修報告

九州ブロック(沖縄県)

一般社団法人 沖縄県歯科衛生士会 会長 野田 直美

2023年12月16日(土)～17日(日)に令和5年度九州ブロック連絡協議会・研修が沖縄県で開催された。日本歯科衛生士会からは吉田 直美会長、下池 光ブロック理事の出席を頂いた。4年ぶりの対面での開催ということで九州各県の会長をはじめ、参加者全員が「顔の見える会議」の開催を喜びあつてのスタートとなった。



吉田会長からの講演は「日本歯科衛生士会からの情報提供」で、9つのテーマについてお話があった。まず、①歯科衛生士の専門性の向上と職業価値向上で社会から更に認められる必要がある中で「専門歯科衛生士制度」構築の重要性が説明された。②来年度、日本歯科衛生士学会に企画委員会を立ち上げ、学会の内容の充実を図ることを推進する。③学術大会では専門研究などを積極的に発表することが大切になる。続いて、④人材確保、行政に関わる歯科衛生士の配置を促進、地方自治体への配置、処遇改善について話された。⑤日本歯科衛生士会から厚生労働省への要望書の内容や取組みの現況報告があった。⑥離職防止について他県での歯科医師会との連携や成功事例を紹介いただいた。⑦各県からも歯科医師会や歯科衛生士養成校との連携の問題点などについて意見が交わされた。また、⑧情報セキュリティ委員会を設立、⑨事務処理が一元化する計画についても説明があった。2時間におよぶ協議会では活発な意見交換がなされた。

懇親会では担当県の野田会長の「カリー(乾杯)」という合図に始まり、30年ぶりに沖縄を訪れたという吉田会長の挨拶があり、司会は入会3年目の若い会員が務め、余興の踊りなどで大いに盛り上がり懇親を深めた。



17日のブロック研修会では「入会促進のために」と題した小田部英勝先生の動画を視聴後、各グループに分かれて話し合い、具体的な取組み内容を発表した。今後の会員確保に向けて収穫となる研修であった。

7年ぶりの担当県、また4年ぶりの対面開催を無事終了できたことに、吉田会長、下池ブロック理事、九州各県の会長の皆様へ、心より感謝申し上げる。

高校生の訪問学習

2023年11月15日(水)、埼玉県の学校法人智香寺学園 正智深谷高等学校の訪問学習で、1年生女子学生5名男子学生2名が本会に来所した。今回で4回目となるこの学習活動は、生徒がさまざまな企業・機関を訪問して事業内容や日々の仕事について学び、仕事の役割およびやりがいを理解することを目的として行われている。

今回来所した生徒のうち、定期的に歯科を受診しているのは約半数で、「歯科衛生士」について理解してもらうために歯科衛生士の業務、歯科衛生士6つの魅力、超高齢社会の中での役割などを話した。同校は野球部やラグビー部などを「トップアスリートクラブ」とするなど運動系部活も盛んな学校なので、マウスピースについても話題とした。

また、「志しだと思った理由」「歯科衛生士の仕事にはどんなことが求められるか」「被災地支援で大変なこと」など事前に送付されていた質問に回答した。

資料として配付した「学生だより」に同校の卒業生が未来の歯科衛生士として掲載されていることを伝えたと、身近に感じてくれた様子であった。

同校では訪問学習の報告会もあるそうなので、本会を訪問した生徒のみならず、多くの生徒が歯科衛生士を進路の一つとしてもらえることを願う。

(日本歯科衛生士会 専務理事 岡田 昌子)



日本歯科衛生士会・日本顎関節学会共同企画「顎関節を知ろう!」講演会のご案内

歯科衛生士を対象に、顎関節症やTCHに関する知識、歯科保健指導に関する講習会を開催いたします。

対象	業務に従事している歯科衛生士	申込	令和6年4月1日(月)より ※定員になり次第終了
開催日時	令和6年5月26日(日) 13:00～15:30	受講料	本会会員・日本顎関節学会員 無料 会員外 5,000円
研修方法	Web研修(Zoomによるライブ配信)	研修方法	Peatixを利用して申込み 初めて利用する方は新規登録が必要です。会員外の方の振込も同システムでご対応ください。
定員	250名		
研修単位	日本歯科衛生士会 第5次生涯研修制度 専門研修2単位/認定更新生涯研修3単位		
日程	13:00～13:10 開会	13:10～15:20 講演(途中休憩あり)	15:20～15:30 閉会 アンケート回答
講演内容	【第1部】知っておきたい顎関節症の基本、歯科衛生士からみた顎関節症への対応、歯科衛生士への顎関節症の教育について 【第2部】TCHとは、TCHは正指導のコツ、TCHの他の歯科疾患に対する影響		
講師	佐藤 文明先生(歯科医師) 佐藤歯科医院今戸クリニック 東京医科歯科大学顎顔面外科学分野 臨床教授 日本顎関節学会 理事 歯科衛生士活動推進委員会 委員長 日高 玲奈先生(歯科衛生士) 東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野 日本顎関節学会 歯科衛生士活動推進委員会委員 兜森 彩日先生(歯科衛生士) 佐藤歯科医院今戸クリニック/デンツプライシノナ株式会社 日本顎関節学会 歯科衛生士活動推進委員会委員		

※詳細については、本会ウェブサイトおよびInstagram公式アカウントをご確認ください。

令和5年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラム開催報告

今回、令和5年12月3日(日)(東日本ブロック)、12月10日(日)(西日本ブロック)各3会場にて、昨年に引き続き対面で開催した。都道府県歯科衛生士会災害歯科保健調整ロジスティクス歯科衛生士46名(以下:都道府県衛ロジ)、および災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士89名(以下:コーディネーター歯科衛生士)、計135名が参加した。今回はテーマを「発災時の初動対応における連絡体制を考える」とし、3つのグループワークを設定し、自身の会の状況把握や他の会との情報共有の時間となるようにした。ワーク①では「アクションカードを作ろう」とし、都道府県会ごとに発災時の連絡体制をアクションカードに記入することで災害時の会の動きを想像すると同時に、課題や問題点が出てきたのではないかと思います。ワーク②では都道府県衛



グループワークの様子

ロジ、コーディネーター歯科衛生士ごとにディスカッションを行い、ワーク①で作成したアクションカードをもとに各会の体制状況の情報共有や課題や疑問点の解決方法などを導きだ

していた。最後のワーク③では「アクションカードをブラッシュアップしよう」とし、ワーク②で得た情報からより会に即したものに作り上げていった。

受講後のアンケートでは、「自身の会の状況を考えて実施でき、課題や問題点が見つかった」「平時からの対応を見直す機会となった」また「顔を合わせて情報共有ができたことがよかった」という意見が多く寄せられ高い評価を得ることができた。令和5年7月よりロジ、コーディネーターの新任期がスタートし、初めてこのフォーラムに参加される方もおり、グループワークやディスカッションを通じ自身の役割をより感じた方も多かったと思う。今回得た成果を自身が所属する都道府県会へと持ち帰り、発災時の連絡体制を強化するとともに、災害歯科保健活動に興味を持つ会員が増え、今後の災害歯科保健活動の推進に期待していきたい。(日本歯科衛生士会 災害歯科保健委員会)



災害歯科保健活動
歯科衛生士
実践マニュアル
2023年度版



災害歯科保健
歯科衛生士
登録者名簿

「2024年歯科衛生国際シンポジウム (ISDH)」のご案内

2024年、韓国ソウルにて開催される
標記シンポジウムの概要をお知らせします。

※詳細は<https://www.isdh2024.com/>をご参照ください



- 開催時期** 2024年7月11日(木)~13日(土)
- 会場** COEX Convention and Exhibition Center Seoul, South Korea
- メインテーマ** Collaboration, Optimization, Reimagination, Equality



理事会報告

令和5年度第5回理事会が令和6年1月21日(日)に開催された。審議事項および報告事項は次のとおりである。

審議事項

- (1) 日本歯科衛生学会第19回学術大会ハイブリッド開催費用、参加費等について
- (2) 令和6年度職員給与について
- (3) 令和6年度各委員会の活動計画(案)について
- (4) 令和6年度事業計画の概要(案)について
- (5) 令和6年度認定歯科衛生士セミナー実施計画(案)について
- (6) 令和6年度収支予算(内訳書)(案)について
- (7) 新入会員の承認について
- (8) 第5次生涯研修制度について
 - ① 第5次生涯研修制度実施要綱細則の一部改正について
 - ② 令和6年度都道府県歯科衛生士会への研修支援について
 - ③ 認定歯科衛生士制度施行細則及び認定歯科衛生士認定更新の手引きの一部改正について
- (9) 地域歯科衛生活動事業について
- (10) 令和4年度地域歯科保健活動実施状況報告書について
- (11) 令和5年度地域歯科保健活動実施状況調査について
- (12) 諸規則整備委員会委員の委嘱について
- (13) 「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会委員の委嘱について
- (14) 2024年歯科衛生国際シンポジウムおよびHoD会議について

- (15) 日本歯科衛生士会長期ビジョン策定

報告事項

- (1) 会務報告
 - ① 業務執行理事等の職務執行報告
 - ② 常任委員会等の報告
- (2) 監査実施報告
- (3) 令和5年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラム実施報告
- (4) 令和6年度厚生労働省歯科関連予算案
- (5) 後援名義使用及び生涯研修制度の研修単位認定
- (6) 国民医療を守るための総決起大会への参加
- (7) 情報セキュリティ委員会報告
- (8) 日本歯科保存学会ACFF研修会への出席報告
- (9) 専門歯科衛生士制度検討WG会議報告
- (10) 第1回歯科衛生士に関する協議会(日歯、全衛協、日衛合同)報告
- (11) 令和5年度都道府県歯科衛生士会会長会・分科会のグループ分け
- (12) 令和6年度ブロック連絡協議会等助成対象経費基準表
- (13) 令和5年度都道府県歯科衛生士会への研修支援実施状況
- (14) 令和6年度認定歯科衛生士セミナープログラム案
- (15) 労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針

日本歯科衛生学会 第19回学術大会のご案内

第19回学術大会は、昨年の第18回学術大会と同じく、会場開催と終了後のオンデマンド配信を行うハイブリッド開催といたします。

会員発表演題は、大会ホームページにて4月15日(月)13:00まで受け付けています。参加登録は7月1日(月)より開始予定です。登録方法は、次号「歯科衛生だより会報」および大会ホームページにてご案内しますので、参加を検討されている方は、随時、大会ホームページや公式X(旧Twitter)をご確認ください。多くの皆様のご発表とご参加をお待ちしています。

- メインテーマ** ライフコースを通じた健口文化の醸成
- 開催日程** 会場開催：2024年9月21日(土)～9月23日(月・休)
オンデマンド配信：2024年10月15日開始予定
- 会場** 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
- 主催** 日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会
- 共催** 一般社団法人新潟県歯科衛生士会
- 後援予定** 新潟県、新潟市、一般社団法人新潟県歯科医師会
一般社団法人新潟市歯科医師会
- 大会ホームページ** <https://jsdhm.jdha.or.jp/19th/> **大会ホームページ**
- 会場開催プログラム**



公式X(旧Twitter)

9月21日(土) 14:00～16:00	専門領域別・研究集会 「歯科衛生士の活動を学術へー各専門領域の現状を確かめるー」	
9月22日(日) 10:00～11:00 11:10～12:10 12:30～13:20 13:30～14:30 14:40～15:18 15:30～16:30 17:00～	開場(9:00) 開会行事、表彰式、学術賞授賞者プレゼンテーション 特別講演「低栄養予防における栄養・歯科連携の推進」 新潟医療福祉大学 名誉教授 斎藤トシ子 氏 ランチョンセミナー 教育講演「大学病院における訪問歯科の取り組み実践(仮)」 日本歯科大学新潟生命歯学部 訪問歯科口腔ケア科 准教授 白野 美和 氏 会員演題発表 県民フォーラム「新潟清酒の魅力と酒造り」 新潟県酒造組合需要振興委員会 委員長 齋藤 俊太郎 氏 交流会	商業展示
9月23日(月休) 9:15～ 9:25 9:30～11:30 11:40～12:18 12:40～13:30 13:50～15:28 15:40～	開場(9:00) 第20回学術大会案内 シンポジウム テーマ：健口文化の醸成を見据えたライフコースアプローチー臨床と地域保健の融合ー 基調講演「健口文化の醸成を見据えたライフコースアプローチー臨床と地域保健の融合ー」 新潟大学 医歯学総合研究科 口腔保健学分野 教授 葭原 明弘 氏 講演1「歯科保健推進における行政の立場から」 新潟県福祉保健部 健康づくり支援課歯科保健係 浦邊 萌絵 氏 講演2「歯周治療における臨床の立場から」 笹出線歯科クリニック 坂井 由紀 氏 講演3「介護・重症化予防における地域活動歯科衛生士の立場から」 上越歯科医師会在宅歯科医療連携室 樋口 聖子 氏 会員演題発表 ランチョンセミナー 会員演題発表 閉会式	商業展示

※タイムスケジュール等は、変更になる場合があります。

2024年度 公益財団法人富徳会研究助成のご案内

2024年度の募集は、4月1日より始まります。対象は、歯科衛生業務に従事する歯科衛生士(業務経験2年以上で、40歳以下)です。また、これまでに富徳会研究助成を受けた研究者を対象としたフォローアップ助成が実施されます。応募方法などの詳細は、富徳会ホームページ[<http://www.isi-sys.net/futokukai/>]をご覧ください。